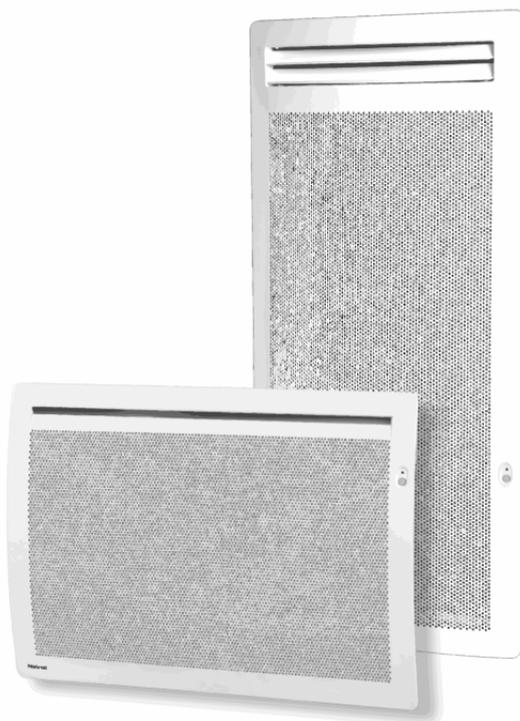
Dimplex®

電気輻射パネルヒーター

リネア　ラジエターヒーター

施工説明書

LIH0405-490	LIH0405-740	LIH0406-990
LIH0407-1240	LIH0408-1490	LIH0410-1990
LIV0804-990	LIV1004-1490	LIV1104-1990

※施工される方へお願い

●この施工説明書の記載内容と異なる設置が原因で生じた故障及び損傷は、保証期間内であっても保証の対象となりませんので、正確な施工を実施してください。

●工事終了後、施工説明書の内容を再確認し、"試運転"と"お客様への取扱い説明"を行ってください。（お客様に安全・快適にご使用いただくために必要です。）

●工事終了後、取扱説明書（保証書付）の保証書に必要事項を記入し、必ずお客様に渡してください。

もくじ　　ページ

安全上のご注意

施工の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

● 表示内容を無視したときに生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ **警告**：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

⚠ **注意**：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

禁止図記号 ‥‥‥‥ 製品の取扱において、その行為を禁止する図記号。

指示図記号 ‥‥‥‥ 製品の取扱において、指示に基づく行為を強制する図記号。

※『注意』の欄記載内容においても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも
安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※取扱説明書は、お客様で保管して頂く様に依頼してください。

【 施工に関して 】～必ずお守りください～

※工事完了後、試運転を行い異常が無い事を確認し、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。

⚠ 警告

次の場所には取付けないこと。
漏電・感電・火災のおそれがあります。
①可燃性ガスの発生する場所、または溜まる場所。
②付近に燃えやすいものがある場所。
③水がかかりやすい場所。
④付近に、塗料・シンナー等の引火性の高いものがある場所。
⑤水平・垂直でなく、不安定な場所。
⑥階段、避難口等の付近で、避難の支障になる場所。
⑦屋内配線との結線部が本体の上方にくる場所。

据付工事部品は、必ず付属品及び指定の部品を使用すること。
機器の落下や火災・感電のおそれがあります。

⚠ 注意

～設置に関して～

運転中や運転直後は操作部以外に触らないこと。
やけどのおそれがあります。

工事を行う際は、手袋を着用すること。
ケガややけどのおそれがあります。

本体は垂直な壁に水平に取付けること。
落下のおそれがあります。

本体付近の壁紙等は熱で変色しにくい物を使用すること。
空気中の温度差により発生する上昇気流の影響で、ほこり等が付着し壁面が変色するおそれがあります。

背面の壁材の仕上げは準不燃材以上を使用すること。
火災のおそれがあります。

強固な壁下地補強材を施した位置にブラケットを固定し、本体を取付けること。
落下のおそれがあります。

※壁下地補強材は、厚み12㎜以上の合板又は同等以上の強度を持つものとしてください。

壁中の金属にブラケットビスが接触しないように、本体を取付けること。
感電のおそれがあります。

～配線に関して～

本体電源ケーブルと屋内配線をよじる等して接続しないこと。
火災のおそれがあります。

本体の分解・改造はおこなわないこと。
感電・やけど・火災のおそれがあります。

配線工事は、有資格の電気工事業者が行なうこと。
感電のおそれがあります。

電源電圧は単相 AC２００Ｖを確保すること。
故障や誤作動のおそれがあります。

主幹には漏電ブレーカーを設置すること。
漏電・火災のおそれがあります。

暖房器それぞれに単独の配線用遮断器を設置すること。
火災のおそれがあります。

屋内配線の最小電線太さ及び配線用遮断器は、内線規程に従ったサイズ・定格値のものを使用すること。
火災のおそれがあります。

ケーブルは本体に接続されている耐熱ケーブルを使用すること。
火災のおそれがあります。

圧着端子（リングスリーブ等）を使用し適切に接続し絶縁処理を施すこと。
感電のおそれがあります。

配線は、本体背面に接触しない様に適切な長さで接続すること。
火災のおそれがあります。

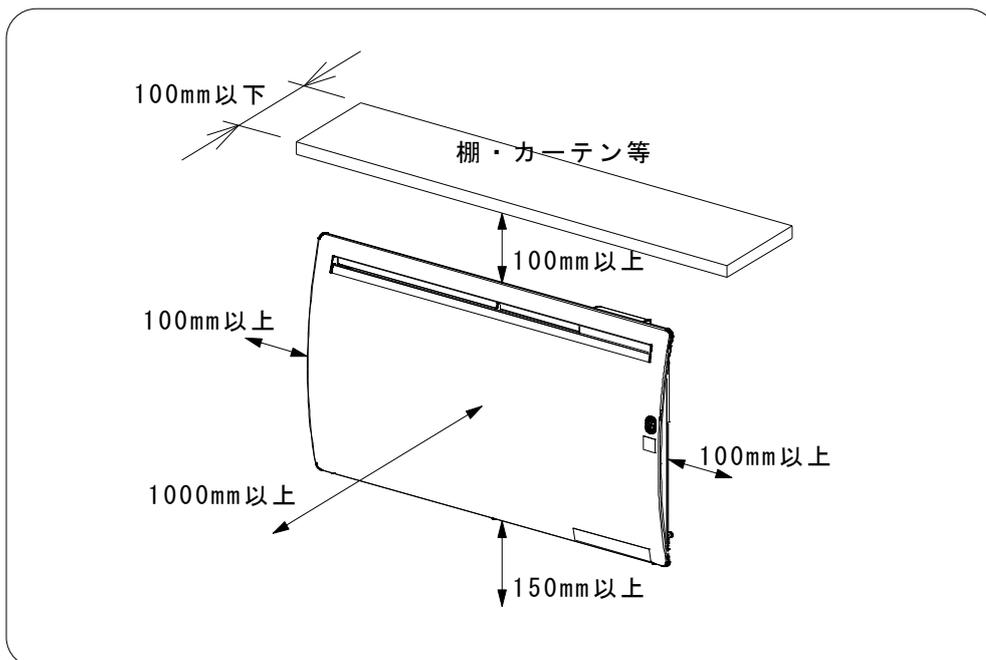
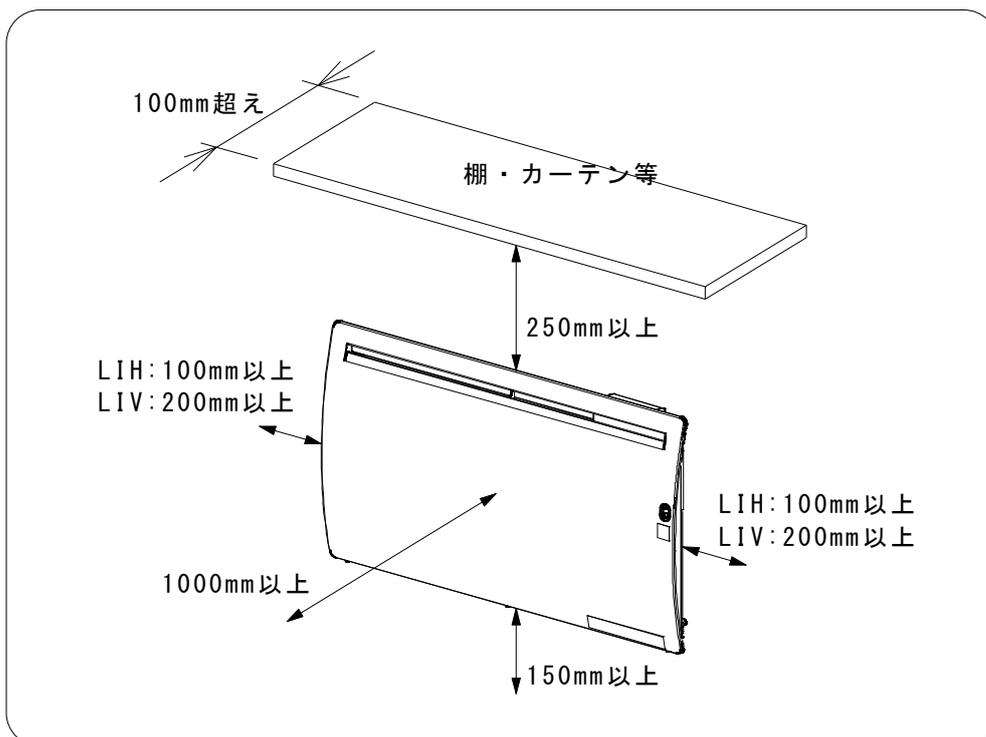
作業後、長期間ご使用にならないときは、必ずブレーカーを「切」にすること。
待機時消費電力（約 5W／台）を消費します。

電源ケーブルは必ず本施工説明書に記載されているとおりに配線すること。
故障や感電の恐れがあります。

アースは、Ｄ種接地工事（旧称：第３種接地工事）を行うこと。
感電の恐れがあります。

離隔距離に関するご注意

カーテン、家具等に対して下記の離隔距離を確保すること。
機器（過熱防止装置、室温センサー等）の誤作動、故障の原因となります。
離隔距離は、正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
周囲の仕上げ材等の変色・変形しないことを保障するものではありません。

■ヒーター上側に１００mm以下の遮蔽物がある場合

■ヒーター上側に１００mmを越える遮蔽物がある場合

仕様一覧

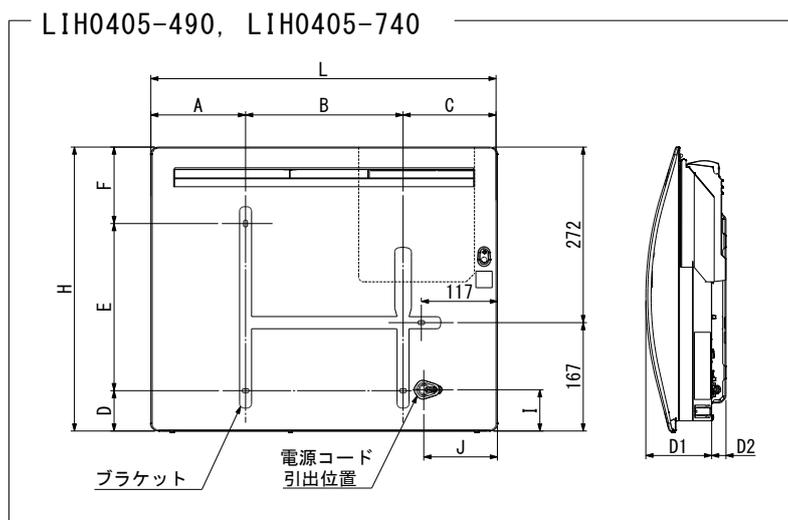
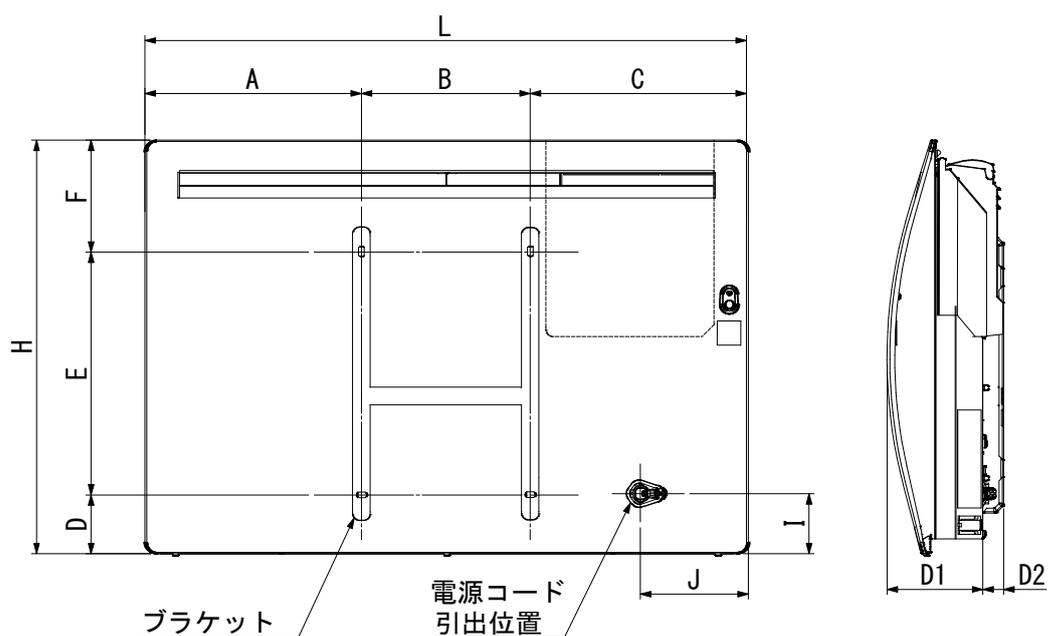
LIH シリーズ

型　番	LIH0405-490	LIH0405-740	LIH0406-990	LIH0407-1240	LIH0408-1490	LIH0410-1990
定格電圧	単相AC200V（50/60Hz）					
定格消費電力	490W	740W	990W	1240W	1490W	1990W
質量（kg）	5.2	5.2	6.0	6.9	7.9	9.7
ヒーターエレメント	490W×1	740W×1	990W×1	1240W×1	1490W×1	1990W×1
外形寸法mm （幅×高さ×奥行）	532×439×91(115)	532×439×91(115)	637×439×91(115)	742×439×91(115)	847×439×91(115)	1057×439×91(115)
電源コードサイズ	1.0mm²×3C　（長さ：700mm）				1.5mm²×3C　（長さ：900mm）	
200V配線用遮断器の定格電流	15A					
200V屋内配線の最小電線太さ（銅線）	直径1.6mm（2mm²）					
安全装置	過熱防止装置（自動復帰型×１、手動復帰型×１）					過熱防止装置 （自動復帰型×２、手動復帰型×１）

LIV シリーズ

型　番	LIV0804-990	LIV1004-1490	LIV1104-1990
定格電圧	単相AC200V（50/60Hz）		
定格消費電力	990W	1490W	1990W
質量（kg）	8.4	10.3	11.1
ヒーターエレメント	990W×1	1490W×1	1990W×1
外形寸法mm （幅×高さ×奥行）	439×847×102(137)	439×1057×102(137)	439×1162×102(137)
電源コードサイズ	1.0mm²×3C　（長さ：700mm）	1.5mm²×3C　（長さ：900mm）	
200V配線用遮断器の定格電流	15A		
200V屋内配線の最小電線太さ（銅線）	直径1.6mm（2mm²）		
安全装置	過熱防止装置（自動復帰型×１、手動復帰型×１）	過熱防止装置（自動復帰型×２、手動復帰型×１）	

※電源コードは青線と茶線が電源線となり、緑／黄線がアース線となります。
※アースは、D 種接地工事（旧称:第 3 種接地工事）を行うこと。

寸法図

型番	H	L	A	B	C	D	E	F	I	J	D1	D2
LIH0405-490	439	532	145	242	145	63	258	118	64	113	91	24
LIH0405-740	439	532	145	242	145	63	258	118	64	113	91	24
LIH0406-990	439	637	229.5	178	229.5	63	258	118	64	113	91	24
LIH0407-1240	439	742	247	248	247	63	258	118	64	113	91	24
LIH0408-1490	439	847	263.5	320	263.5	63	258	118	64	113	91	24
LIH0410-1990	439	1057	261	535	261	63	258	118	64	113	91	24
LIV0804-990	847	439	96	248	95	99	452	296	99	267	102	35
LIV1004-1490	1057	439	96	248	95	152	452	453	99	267	102	35
LIV1104-1990	1162	439	96	248	95	332	452	378	99	267	102	35

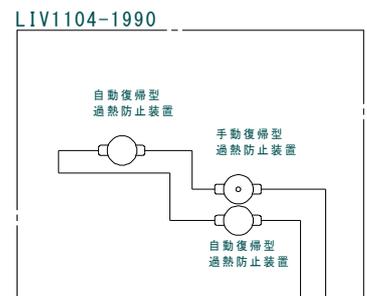
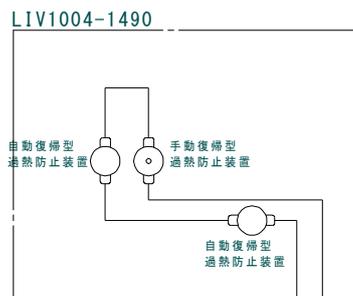
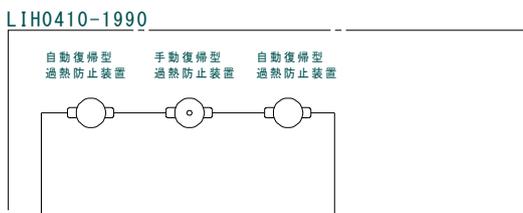
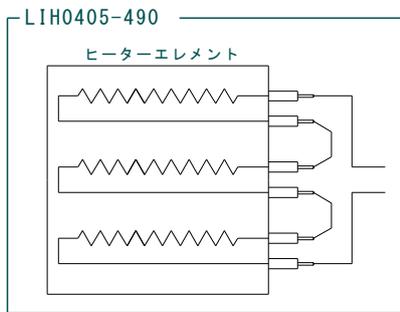
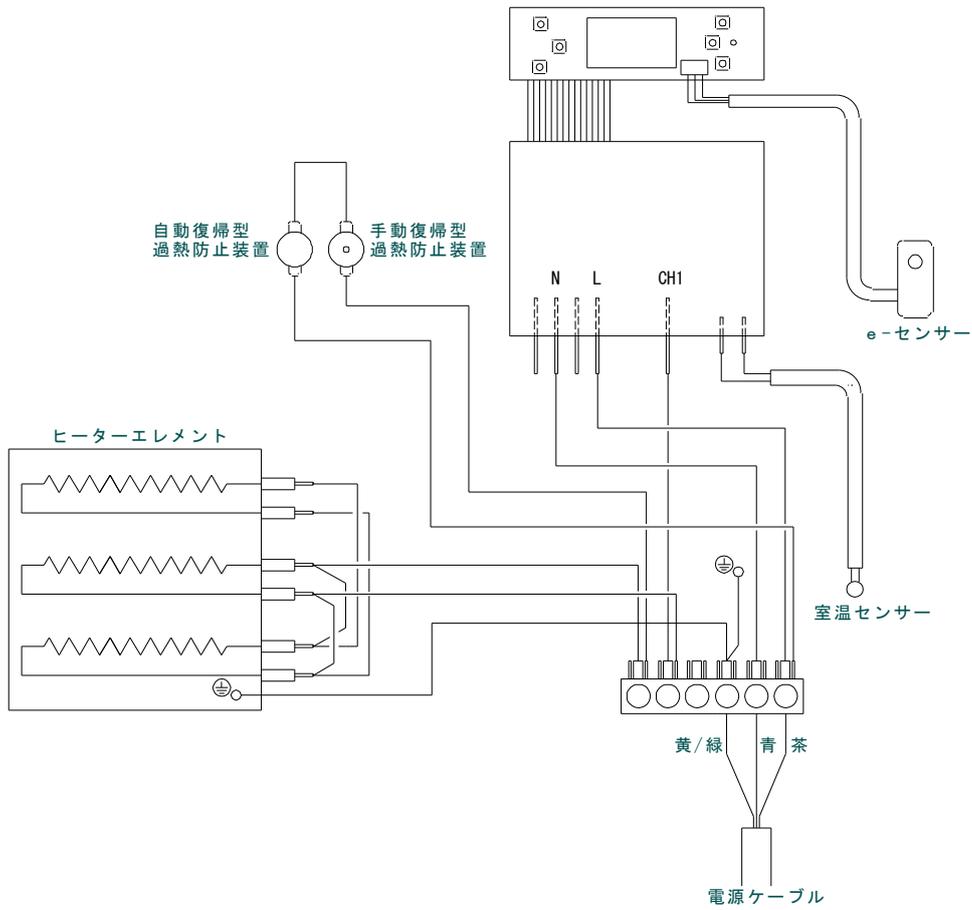
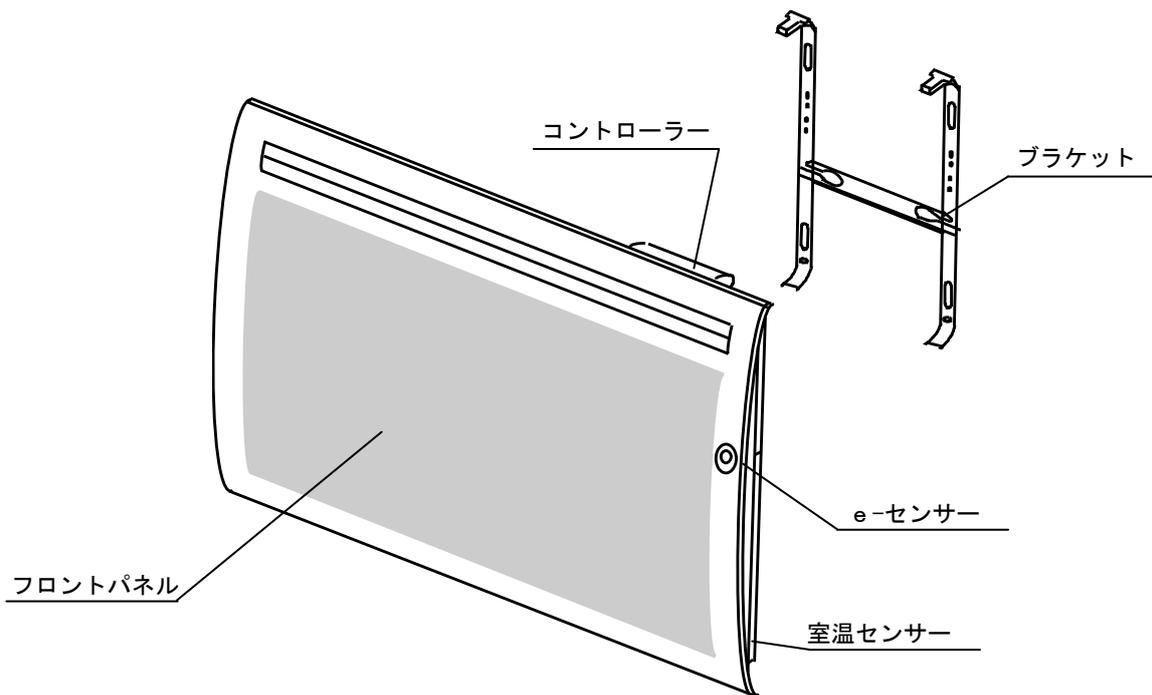
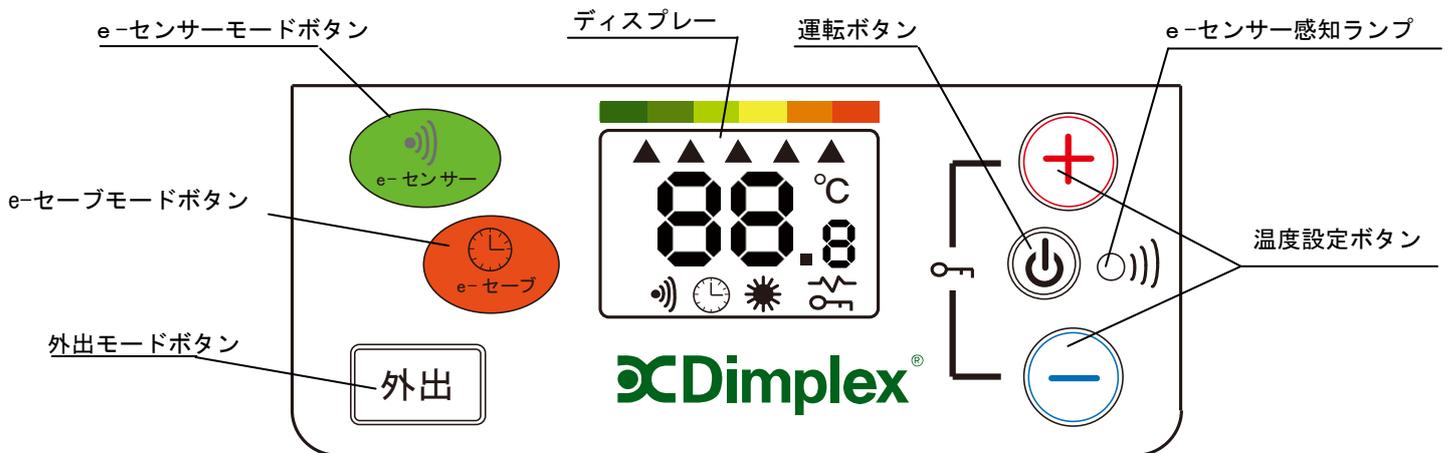
配線図

自動復帰型
過熱防止装置
手動復帰型
過熱防止装置
N
L
CH1
e－センサー
ヒーターエレメント
室温センサー
黄/緑
青
茶
電源ケーブル

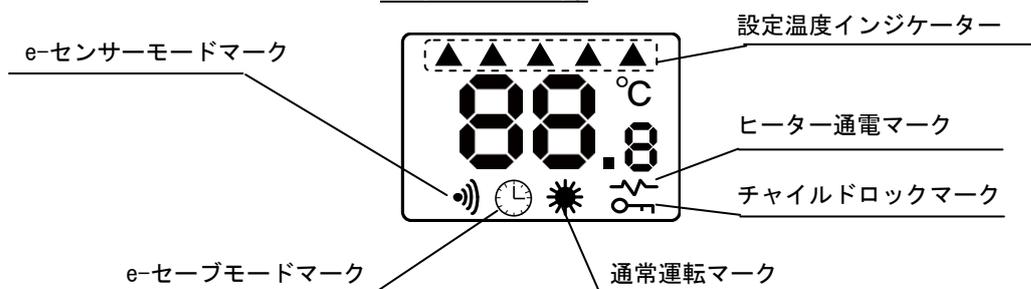
LIH0405-490
ヒーターエレメント

LIH0410-1990
自動復帰型
過熱防止装置
手動復帰型
過熱防止装置
自動復帰型
過熱防止装置

LIV1004-1490
自動復帰型
過熱防止装置
手動復帰型
過熱防止装置
自動復帰型
過熱防止装置

LIV1104-1990
自動復帰型
過熱防止装置
手動復帰型
過熱防止装置
自動復帰型
過熱防止装置

各部名称

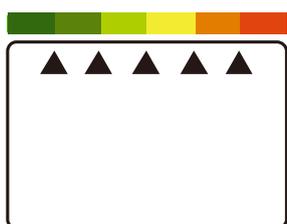
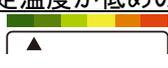
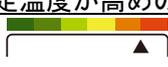
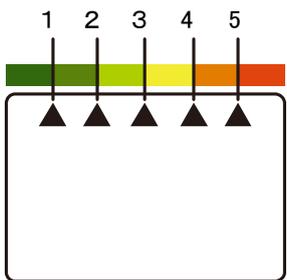
コントローラー部

ディスプレー部

各部名称

【コントローラー部】

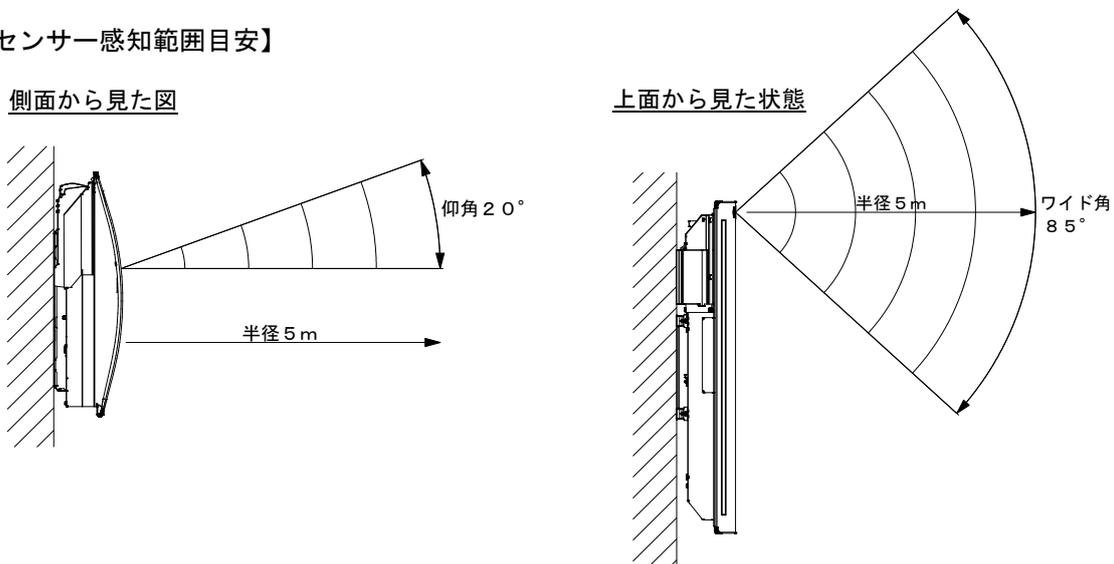
名称	内容
運転ボタン	本機器の暖房運転の開始/解除を切り替えます。
温度設定ボタン	下記内容の設定ができます。 ①通常運転では 10～28℃の範囲内で 0.5℃刻みで設定温度が調整できます。 ②e-セーブモードのタイマー時間設定の調整に使用します。 ③“+”および”－”ボタンを同時に 3 秒以上押すことでチャイルドロック機能の開始/解除を切り替えます。
e-センサー感知ランプ	e-センサーが「動き」を感知している間、点灯します。 ※e-センサーの近辺に障害物があると、機能しないことがあります。ソファー等を置く場合には、センサーから十分な距離を確保してください。
e-センサーモードボタン （e-センサーの働きにより設定温度を自動的に調整して運転）	e-センサーモードの開始/解除を切り替えます。 e-センサーモード時に、e-センサーが「動き」を感知しない時間が続くと、自動的に設定温度を段階的に下げます。 e-センサーが「動き」を感知すると、自動的に設定温度を通常の設定に戻します。 ※e-センサーによる設定温度の最大自動低減幅は 3.5℃です。
e-セーブモードボタン （タイマー時間を設定する事により設定温度を下げる運転）	e-セーブモードの開始/解除を切り替えます。 設定されたタイマー時間の間、通常運転よりも 3.5℃低い温度設定で暖房運転をします。 ※通常運転時の設定温度が 25.5℃より高い場合、e-セーブモード時の設定温度は 22℃固定となります。 ※0.5 時間～24 時間の間で 0.5 時間刻みでタイマー時間の設定が可能です。
外出モードボタン	外出モードの開始/解除を切り替えます。 外出等でお部屋から長時間離れる場合など、簡単に設定温度を下げることができます。 ※6.5℃～15℃の範囲内で 0.5℃刻みで設定ができます。

【ディスプレー部】

名称	内容
e-センサーモードマーク	e-センサーモード時に表示されます。
e-セーブモードマーク	e-セーブモード時に表示されます。
通常運転マーク	通常運転中に表示されます。 ※e-セーブモード時、外出モード時は表示されません。
ヒーター通電マーク	ヒーターに電気が通電中に表示されます。
チャイルドロックマーク	チャイルドロック時に表示されます。
設定温度インジケーター	通常運転時の設定温度に応じてゲージが表示されます。 設定温度が低めのとき 設定温度が高めのとき 1：19℃以下 2：19.5～20.5℃ 3：21～22℃ 4：22.5～23.5℃ 5：24℃以上

施工説明

● 設置に関して

- 以下の付属品が同梱されていることを確認してください。
  ①ブラケット（本体背面にセットされています）②取付けビス（４本）
  ③取扱説明書（保証書付）④施工説明書（本書）
- 壁は、下地補強を入れてください。壁下地補強材は、厚み 12 ㎜以上の合板又は同等以上の強度を持つものとしてください。
- 自然対流により発生する上昇気流の影響で、壁面にほこり等が付着し、変色する場合があります。壁仕上材は熱で変色しにくいものをご使用ください。
- 背面の壁材の仕上げは、準不燃クロス、石膏ボードや珪酸カルシウム等の不燃材を使用してください。
- テーブルや机のすぐ下への設置は、お止めください。
- 水のかかりやすい場所、湿気の多い場所での使用はお止めください。
- 付近に燃えやすいもの、引火性の高いものを置かないでください。
- 本製品はｅ−センサーを搭載しています。ｅ−センサーの近辺に障害物があると、機能しないことがあります。下記のｅ−センサー感知範囲目安に入らないように、ソファー等を設置してください。

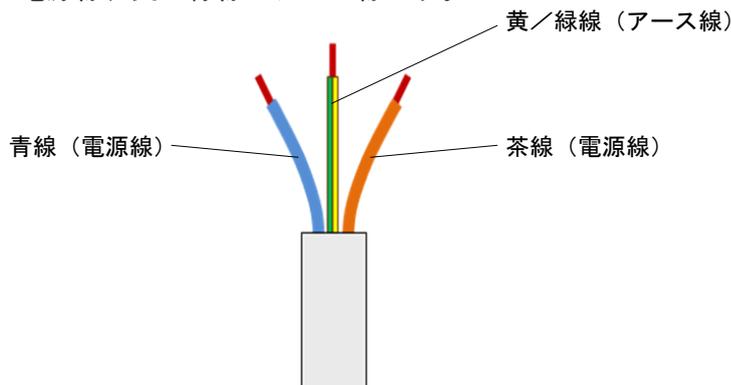
【ｅ-センサー感知範囲目安】

● 離隔距離に関して

４ページ「離隔距離に関するご注意」にもとづいて離隔距離を確保してください。

> **⚠ 警告**
>
> 🚫 次の場所には取付けないでください。
> ①可燃性ガスの発生する場所、または溜まる場所。
> ②付近に燃えやすいものがある場所。
> ③水がかかりやすい場所。
> ④付近に、塗料・シンナー等の引火性の高いものがある場所。
> ⑤水平・垂直でなく、不安定な場所。
> ⑥階段、避難口等の付近で、避難の支障になる場所。

施工説明

● 配線工事に関して

- 工事は、有資格の電気工事業者が行ってください。
- ケーブルは本体に接続されている耐熱ケーブルを使用してください。
- 本体電源ケーブルと屋内配線をよじる等して、接続するのは止めてください。圧着端子（リングスリーブ等）を使用し適切な工具で確実に接続してください。
- 本体電源ケーブルは適切な長さにカットし、壁から最短で屋内配線と接続してください。ケーブルの本体背面への接触や、無理な曲げ、束ねる等の行為はしないでください。
- 茶線と青線が電源線、黄／緑線がアース線です。

- 接続部分は必ず個々に絶縁処理をしてください。
- 本品はアース線の取り付けが必要です。アースは、D 種接地工事（旧称:第 3 種接地工事）を行ってください。
- 電源は、単相 AC200V です。電源電圧が高すぎたり、低すぎたりすると本体の故障や誤作動の原因となります。
- 暖房器それぞれに専用の配線用遮断器を取付けてください。また、屋内配線の最小電線太さ及び配線用遮断器の定格電流は、下表を参照してください。(全極において電源から切り離す 3 ㎜以上の接点距離を確保すること。)
- 配線工事後、長期間ご使用にならないときは、必ず配線用遮断器を「切」にしてください。ブレーカーを「切」にしないと、１台につき待機時消費電力約 5W を消費します。

屋内配線の 最小電線太さ（銅線）	配線用遮断器の 定格電流
直径　1.6㎜　（2㎜ ^{2}）	15A

施工説明

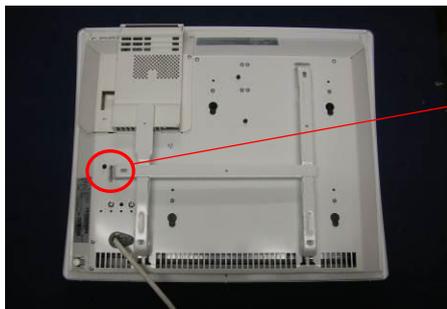
● 取付に関して

１）本体背面よりブラケットを取外します。

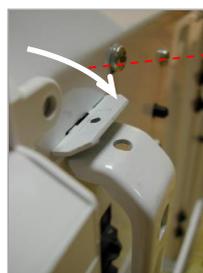
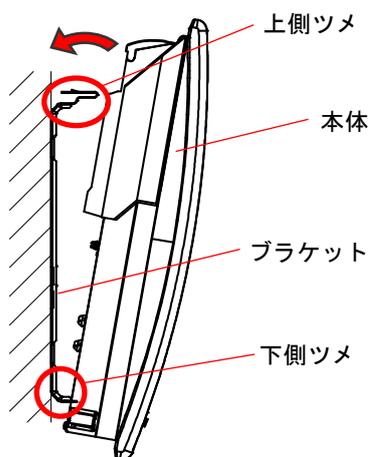
本体背面から見た状態

最初に、上部ツメ２箇所を取外します。

次に、下部ツメ２箇所を取外します。

※LIH0405-490、LIH0405-740 の場合

LIH0405-490 と LIH0405-740 は、側面から取外すツメがあります。

２）ブラケットを、６ページの寸法図を参考に補強材を施した壁面に付属ビス４本で取付けます。

３）本体をブラケット下部に引っ掛けて、本体上部をブラケットに押し当てます。その際、ブラケット上部のツメがパチンと音がするまで押し込んでください。

ブラケットのツメがパチンと音がするまで押し込む。

※ブラケットと本体の穴の位置が大きくズレているときは、本体を無理に押し込まず、ブラケットのビスを緩める等し、ブラケットの歪みを調整してから取付けてください。
（音鳴りの原因となることがあります。）

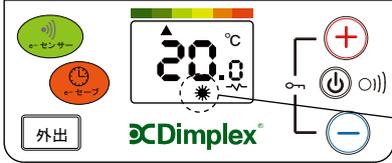
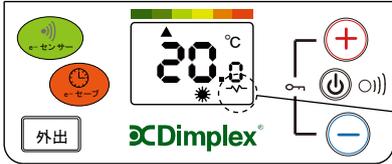
⚠ 注意

- **壁下地補強材は、厚み 12㎜ 以上の合板又は同等以上の強度を持つものであること。**
- **運転中や運転停止直後はまだ本体が高温状態なので操作部以外触れないこと**

試運転

●設置、または修理が完了した後に、必ず試運転を行ってください。

●需要家様引渡しに際して、本体に同梱してある「取扱説明書」をお渡しの上「コントローラー部分の説明」「使用方法」について説明してください。

	試運転手順	内容
1	通常運転確認	①リネア用２００V ブレーカーを「入」にします。 ②運転ボタンを１回押して、ディスプレーに通常運転マークと現在の設定温度が表示されるか確認します。 通常運転マーク
2	温度設定動作確認	①温度設定ボタンの「＋」または「－」ボタンを押して、表示される設定温度が変わることを確認します。 ※通常運転では１０～２８℃の範囲内で０．５℃刻みで設定ができます。 ②設定温度を上げ下げし、ヒーター通電マークが点灯／消灯することを確認します。 ヒーター通電マーク ※室温センサーの周囲温度が２８℃より高い場合は、サーモスタットが働くためヒーター通電マークは点灯しません。 濡れタオルもしくはコールドスプレー等を使用して、室温センサーの周囲温度を下げてから、ヒーター通電ランプの点灯を確認してください。
3	暖まり確認	①設定温度を２８℃に設定します。 ②本体表面が暖まることを確認します。 ※室温センサーの周囲温度が２８℃より高い場合は、サーモスタットが働くため暖まりません。 濡れタオルもしくはコールドスプレー等を使用して、室温センサーの周囲温度を下げてから、暖まりを確認してください。
4	終了	試運転終了後、暖房器を長期間お使いにならないときは、 ①設定温度を最初の値に戻した後、運転ボタンを１回押して通常運転を停止します。 ②リネア用２００V ブレーカーを「切」にします。 ※ブレーカーを「切」にしないと、１台につき待機時消費電力約 5W を消費します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>調べる所</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="5">暖房器が暖まらない。</td><td>200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。</td><td>200V 電源ブレーカーを「入」に設定してください。</td></tr>
<tr><td>通常運転の設定温度が低くなっていませんか。</td><td>設定温度を高くしてください。</td></tr>
<tr><td>ｅ−センサーモード・ｅ−セーブモード・外出モードのような、設定温度を通常運転よりも抑えめにする運転モードになっていませんか。</td><td>ｅ−センサーモード・ｅ−セーブモード・外出モードを解除し、通常運転にしてください。</td></tr>
<tr><td>過熱防止装置が作動していませんか。</td><td>本体近くの障害物を移動し、離隔距離を確保してください。販売店にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">北海道電力及び北陸電力管内のお客様
電気供給契約メニューをご確認ください。
※融雪用電力を利用した契約メニューの場合、毎日決められた時間帯に電源が強制的に遮断されるため、遮断中はディスプレーの表示が消えて暖房器が停止します。
（例：ホットタイム契約又はホワイトプラン電力契約）
詳しくは、ご契約の電力会社にお問い合せください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お部屋が暖まらない。</td><td colspan="2">上記”暖房器が暖まらない”をまずご確認ください。</td></tr>
<tr><td>ドアや窓が開いていませんか。</td><td>ドアや窓を閉めてください。</td></tr>
<tr><td>本体の近くのソファ、棚、カーテン等が、熱の輻射を妨げていませんか。</td><td>本体近くの障害物を移動し、離隔距離を確保してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ディスプレーが表示されない。</td><td>200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。</td><td>200V 電源ブレーカーを「入」に設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">北海道電力及び北陸電力管内のお客様
電気供給契約メニューをご確認ください。
※融雪用電力を利用した契約メニューの場合、毎日決められた時間帯に電源が強制的に遮断されるため、遮断中はディスプレーの表示が消えて暖房器が停止します。
（例：ホットタイム契約又はホワイトプラン電力契約）
詳しくは、ご契約の電力会社にお問い合せください。</td></tr>
<tr><td>ボタン操作ができない。</td><td>チャイルドロックが働いていませんか。</td><td>チャイルドロックを解除してください。</td></tr>
<tr><td>においが出る。</td><td colspan="2">初めてお使いになる場合や長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出る場合が有ります。
このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。</td></tr>
<tr><td>本体から音が鳴る。</td><td colspan="2">ビスとパネル、ヒーター等金属間の熱膨張率が異なるため、運転時に音が発生する場合がありますが異常ではありません。</td></tr>
</table>

また、上記に該当せず、使用中に異常が感じられる場合は、直ちに暖房運転を停止（ディスプレーが表示されない状態）にし、リネア用２００V電源ブレーカーを「切」にし、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。